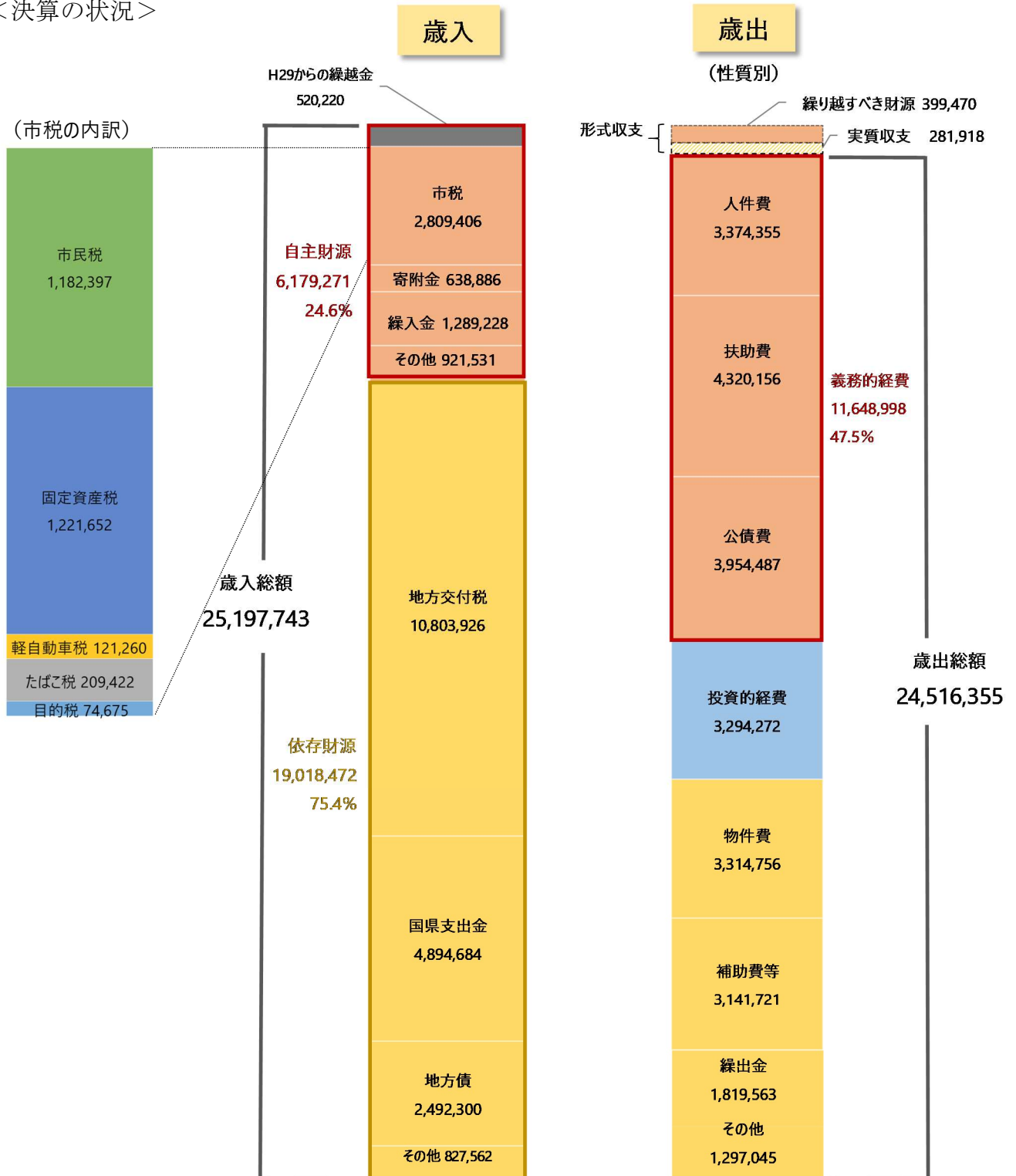


平成 30 年度平戸市普通会計決算の概要

※本資料の図表中の数値については、表示単位未満端数処理の関係で、合計が一致しない場合があります。

歳入 251 億 9,774 万円 (△21 億 4,083 万円 △7.8%)
歳出 245 億 1,636 万円 (△23 億 199 万円 △8.6%)

<決算の状況>



1 歳入

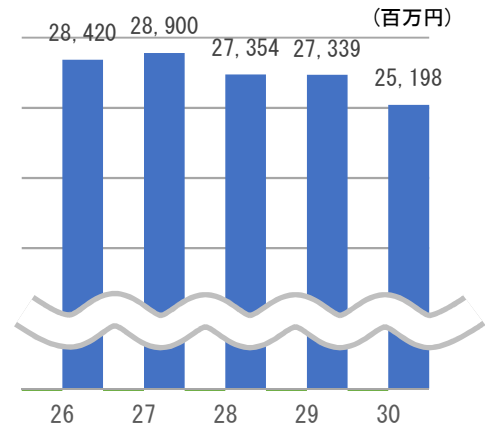
【増要因】

- ・譲与税等の増（地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金） $+2,691$ 万円

【減要因】

- ・地方交付税の減 $\Delta 1$ 億 5,297 万円
- ・大型建設事業等の終了に伴う国県支出金の減 $\Delta 5$ 億 4,066 万円
- ・やらんば！平戸応援寄附金等の寄附金の減 $\Delta 4$ 億 3,757 万円
- ・合併特例事業債等の地方債発行額の減 $\Delta 7$ 億 8,310 万円

【歳入の推移】



2 歳出

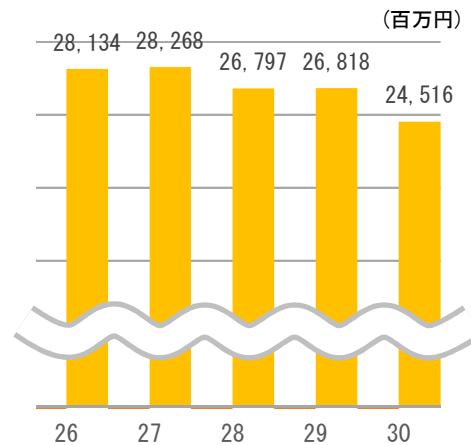
【増要因】

- ・公債費の増（うち任意の繰上償還+1億330万円） $+1$ 億 4,455 万円
- ・新船建造にかかる交通船事業への繰出金やコミュニティ推進事業等による補助費の増 $+3$ 千 379 万円

【減要因】

- ・やらんば！平戸応援基金積立金（ふるさと納税による基金）の減 $\Delta 6$ 億 5,570 万円
- ・大型建設事業の終了や災害復旧事業の減少に伴う投資的経費の減 $\Delta 18$ 億 4,456 万円

【歳出の推移】



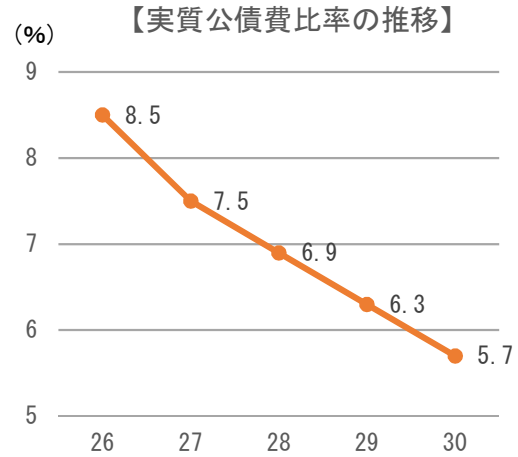
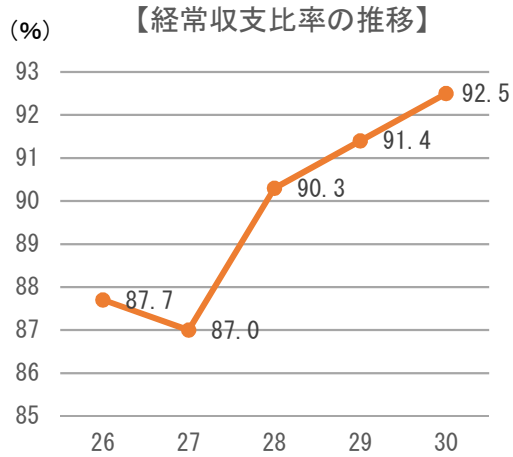
3 決算収支

- (1) 実質収支 2億8,192万円の黒字（1億1,048万円減）
- (2) 実質単年度収支 7億449万円の黒字（914万円減）

区分	平成30年度	平成29年度	対前年度増減
実質収支	2億8,192万円	3億9,239万円	$\Delta 1$ 億1,048万円
実質単年度収支	7億449万円	7億1,363万円	$\Delta 914$ 万円

4 財政構造の弾力性

- (1) 経常収支比率 92.5% (1.1ポイント上昇)
 (2) 実質公債費比率 5.7% (0.6ポイント低下)



5 地方債現在高及び積立金現在高

- (1) 地方債現在高 267億3,395万円 (△12億8,253万円)
 (2) 地方債現在高 (臨時財政対策債除く) 186億8,011万円 (△12億1,281万円)
 (3) 積立金現在高 121億4,939万円 (△4億6,512万円)

